

第1問 【解答例】

- 問一 A…(3) B…(5) C…(4) D…(2) E…(6) F…(1)
- 問二 いじめをにくむ心の育成や異質なものへの偏見や差別意識を持たず、相互理解や寛容、善悪の判断や生命を尊重する心を育てることなどが道徳教育で目指された。
- 問三 教科書や指導書に頼りがちで、児童の実態に応じて活用できておらず、話し合いや議論、多面的・多角的に考える指導がまだ十分にできていないから。
- 問四 道徳の時間については学校によって充実度合いに差がある
指導が読み物の登場人物の心情理解に偏っている
子どもたちが教師の求める答えを言おうとする
- 問五 道徳教育の目標 (道徳科の目標でも可)
- 問六 ①かたよ ②かなめ ③風潮 ④きわ ⑤けいしょう ⑥端末 ⑦異質 ⑧具現化 ⑨やしな ⑩参画

第2問 【解答例】

- 問一 A…(5) B…(3) C…(1) D…(2) E…(6) F…(4)
- 問二 学者は利害関係や私利を無視、意見を述べることが求められるが、周りが言えないことや黙っておけばいいのにと思うことに対して、空気を読まずに口に出すがゆえに、世間を知らずと評価されると考えている。しかし空気を読まずに、本質を突くという役割を学者は果たさなければならぬと筆者は考えている。
- 問三 本来、他者の発信に対する自分の感情を明確な言葉で表現することは訓練が必要であるが、属性攻撃であれば、攻撃性を明確に表現でき、批判の中身を丁寧に説明する必要がなく、他者の同意を得やすいため。
- 問四 (1) × (2) ○ (3) × (4) × (5) ○
- 問五 ①承知 ②加担 ③ぞうげ ④かくぜつ ⑤はんらん ⑥叱 ⑦せつちよ ⑧愚鈍 ⑨あなど ⑩貢献